

湧出量 温度 化学組成がいずれもほぼ一定しているので 今ではこの地に龍川鉱泉療養所と龍川鉱泉飲料工場が建てられ 工場は”珠江”印の鉱泉水の瓶詰を作っている。その歌い文句は「お口爽やか 健康の守り手 龍川鉱泉水」である。

次に塩泉であるが その湯は人々周知の食塩水である。この種の温泉は一条の帯となって広東省の沿海一帯に分布し 海潮の影響のある範囲に存在する。潮安県の東山湖温泉（東湖温泉）陸豊県の後坎温泉 広州市の三元里温泉がその代表的な塩泉である。

塩泉の温度はまさにさまざまで その温度は地下の熱水が循環する深度に左右され もっとも温度が高いのは潮安県の東山湖温泉で 泉温が85℃ 陸豊県の後坎温泉が60℃ そして広州市の三元里温泉は32℃にすぎない。ともあれ 広東省の沿海地帯は交通が便で 人口も比較的密であり 温泉の開発と利用の環境は優れている。

観光にも力を注ぎ始めた中国のこと 放っておかないに違いない。

最初の地熱発電所も

もう一つ 広東省で温泉の季節にもっとも人気のある温泉郷 湯坑であるが これは東部の豊順県にある。すでに西漢の時代に この地は湯坑と呼ばれていたのである。この湯坑は清らかな溪流が巡る大きな町で 泉源が無数に密集し 温泉は42泉 全県下の温泉総数の81%を越え 湧出量が大きく 泉温は一般に86-104℃であり 温泉郷の名にふさわしい所と広東省の人々は自賛している。しかし過去 多数の密集した泉源から熱水が滔々と湧出している割には 利用されてこなかった。それが中国初の地熱発電所が建設（1970年12月に運転開始）されたことを契機に 熱水の多角的な利用が始まっている。（つづく）

最近中国で発見された新鉱床

岸本文男（元所員）

Fumio KISHIMOTO

贛西地域で大型カオリン鉱床の発見

江西省地質鉱産局の贛西地質調査大隊は 最近 江西省吉安県での試錐探査によって一つの大型カオリン鉱床を発見した。今までに明らかになったことによると この鉱区内のカオリン鉱層は2層からなり 第一鉱層は層厚が5-17m 第二鉱層は層厚が20-56mである。それらの胚胎層はジュラ系下部統の林山累層で 沖積相の碎屑堆積物で構成され 層厚は410mである。鉱区の基本的な構造は一つの向斜で 延長が3,000余m 基盤は茅口石灰岩からなっている。

廖駿（中国地質報 1988. 4. 18）

山東省で鉱量5,000万トンの高品位鉄鉱床

最近 山東冶金地質勘探会社の第一隊が山東省淄博市の金嶺鉄鉱山の外側でまた高品位鉄鉱床を発見し この発見によって国家に鉄金属量5,286万トンの鉄鉱と銅金属量9,344トンの随伴銅鉱を提供したことになる。この鉄鉱床は 相当量のコバルトも含んでいる。鉄床の鉄

品位は高く 平均Fe品位は51%を少し越え 採掘条件も被選鉱性も良い。すでに山東省における第8次5カ年計画での開発鉄床に組入れられている。

徳夫 維利 友芳（中国地質報 1988. 4. 18）

江蘇省金壇・丹徒地区で大型岩塩鉱床

華東石油地質局が江蘇省の金壇県-丹徒県の域内に広がる一大型岩塩鉄床の発見とその鉱量（粗鉄量57億t 岩塩量37億t）などについて公表した。

華東石油地質局は「総合探査」という方針を貫き 上記の域内での地質調査の実施中に7本の調査ピットから岩塩層を発見し 同層の分布面積が47km²で 賦存深度が浅く 層厚が厚く 品質が比較的優れ 稼行価値が高いことを確認した。

現在 華東石油地質局は精密探査と開発テストを進めながら金壇県人民政府と共同開発計画を練っている。

王喜根 姜福慶（中国地質報 1988. 5. 6）